

浅井町 ふれあいたより

4月号

発行日 平成 26 年4月1日 発行者 浅井町地域づくり協議会

一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

『3年生を送り出して』

一宮市立浅井中学校 校長 坂井 辰美

梅の香とともに別れの季節が来ました。学校は毎年卒業生を送り出してきました。例年のことではありますが、送り出す生徒たちにはそれぞれ特徴があり、生徒たちと過ごしてきた日々には違った思い出があります。今年度卒業した67期生207名の3年生にもいろいろな思い出があります。

今年の卒業生は年を追うごとに成長した学年でした。中学校2年生は中だるみの学年とよく言われますが、今年の卒業生は、2年生の1学期から学校での様子は改善し、いろいろな場面で持てる力を発揮する姿をみることができました。3年生になると学習する姿も真剣味が増しました。3学期になると受験一色になる学校生活でも、有志の生徒があいさつ運動に取り組んだり、清掃を中心とした奉仕活動に熱心に取り組んだりしました。3年生として立派な行動をとる生徒が増えてきました。



3月に入ると4日には卒業生を送る会が行われました。卒業生を送る会は生徒会が中心になって準備から当日の運営までを担います。また、3年生が1・2年生に浅井中学校の伝統を引き継ぐ会でもあります。会では、1・2年生は3年生との思い出をスライドにまとめたり、劇「かぐや姫」を演じることで3年生を笑顔にしたりしました。生徒会役員を中心とした実行委員が2時間余りの会をしっかりと運営しました。1・2年生にとっては進級に向けての大きな一歩となる会になったと感じました。

3月6日には、一宮市教育委員会教育委員長をはじめ多数のご来賓を迎え、卒業式を挙行了しました。卒業生には式辞として「幸福の女神には後ろ髪がない」という諺を紹介し、「挑戦する勇気を持つこと」と「頼まれごとのなかから自分の成長の芽を見つけること」の大切さを述べました。卒業生は、9か年の義務教育を終え、友人や教師との別れを惜しみながら、笑顔と涙の混じり合いながらも清々しい姿で巣立っていきました。多くの生徒は卒業後入試を迎えます。この原稿が配付されるころには結果も分かり、新しい一歩を踏み出しています。人生の新たな1ページを開こうとする、すべての卒業生に幸多からんことを祈念しています。



『ひな祭り・ゴーゴーゲーム大会』

浅井児童館 館長 塩田 照樹

2月22日(土)、今年度最後の行事、ひな祭り会を開催しました。

ひな祭りは元来「女の子」の健やかな成長を願っての催しですが、児童館では男女の区別なく、みんなで一緒に仲良く歌やゲームなどを愉oshimしました。どの子の顔も笑顔で満ち溢れ、楽しい時間を過ごすことができました。子どもたちには、いつまでもどこでも「この笑顔」を忘れずに元気に育ってほしいと思います。(参加数55名)



“浅井3小学校 6年生を送る会”

『6年生ってすごいんだね』

一宮市立浅井南小学校 校長 北川 敬治

3月7日、浅井南小学校で、6年生を送る会が行われました。まず、在校生が、学年ごとに工夫した出し物を披露しました。子どもたちは、曲に合わせて歌ったり、踊ったりしました。低学年の「掃除の時間に手伝ってくれて、ありがとう。」などのメッセージに6年生も聞き入っていました。次に、6年生の入学当初からの写真がスクリーンに映し出されると、幼い頃の笑顔に、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



在校生の「ありがとう」を表す心が、会場いっぱいにあふれ、心温まる会になりました。

『ありがとう』の気持ちを込めて

一宮市立浅井北小学校 校長 則竹 佳子

今までお世話になった6年生への感謝の気持ちを込めて、6年生を送る会が開かれました。学年ごとにダンスや歌、思い出のスライドなど、発表がありました。

児童会では、6年生に関わるクイズを行い、盛り上がりしました。6年生は、詩の群読や自分たちの成長を振り返り、感謝の気持ちを贈るスライドの上映を行いました。立派な姿から、小学校を巣立っていこうとする頼もしさを感じられました。

会場全体があたたかい雰囲気に包まれ、6年生との別れを惜しむよい時間となりました。



『世界に一つだけの花』

一宮市立浅井中小学校 校長 町田 哲雄

卒業まで10日と迫った3月10日、6年生を送る会が開かれました。今まで世話をしてきた低学年の子から手紙や首飾りを受け取る姿は、少し照れくさそうでしたが、どの顔も笑顔にあふれていました。

各学年の出し物の後、6年生は歌を3曲披露してくれました。その素晴らしい歌声の余韻のなか、大きな拍手に送られて6年生が退場していきました。たくさんの思い出を胸に、中学校でも勉強に運動にがんばってほしいと思います。



『誰にも見せない涙があった』

浅井中学校学校運営協議会 会長 奥田 義徳

3月15日(土)、浅井中学校学年保護者会に参加しました。新学期を前に、3年生の学年目標を「あたたかい関係を築き 力を高めよう 189名」と定め、生活面、学習面、進路について指導教師よりガイダンスがありました。

春休みを「信頼関係のスタート」と位置づけ、「使っているはずが使われている、やめなければならないのにやめにくい携帯・スマホの使い方」や、「予期せぬトラブルを避けるため、外出を控え外泊をしない」について、家族ぐるみで話し合い、将来の進路選定に結び付けていくことを確認しました。

最後は、「栄光の架橋」を生徒全員で合唱。 “誰にも見せない涙があった 人知れず流した涙があった いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある だからもう迷わずに進めばいい 栄光の架橋へと”

「確かな学力 豊かな心 たくましい身体」 児童・生徒の健全育成にご協力願います。

